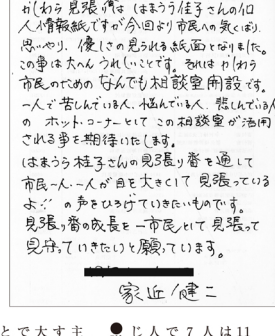
「かしわら見張り番」へのご意見ありがとうございました！

前号で「かしわら見張り番」へのご意見を募りましたところ、お手紙やお電話などで、多くの励ましのメッセージをちょうだいしました。ここに一部紹介させていただきます。

「なんでも相談室」に期待

家近　健二さん

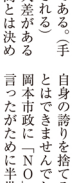

かしわら見張り番 2013 4 No41
を読んで
かしわら見張り番（はまろう住子さんの個人情報紙）ですが今回より市民への気くばり、思いやり、優しさの見られる紙面となりました。この事は大へんうれしいことです。それはかしわら市民のためのなんでも相談室開設です。一人で苦しんでいる人、悩んでいる人、困っている人の ホットコーナーとしてこの相談室が活用される事を期待いたします。
はまろう住子さんの見張り番を通して市民一人一人が自を大きくして見張っているよ!! の声をひろげていきたいものです。
見張り番の改良を一市民として見張って見守っていきたいと願っています。
家近／健二

議員定数削減と議員報酬30％削減に大賛成

滝●　一●さん

「かしわら見張り番4月号」を拝見しました。議員定数削減と議員報酬30％削減に大賛成です。議員定数は11人でいいのでは。羽曳野市議会と同数なら憲法違反です。念願は、自分が生きている間に憲法改『正』の道筋が確立されることです。

「かしわら見張り番」はまうら住子より回答いたします



●**議員は60日ほどの勤務で十分やっ**

貴重なご意見をいただき、感謝いたします。議員定数は、年4回あります。1回の日程は、開会1日、本会議2日、閉会1日、そして委員会2日とあわせて6日間です。一年で合計24日です。

その他、打ち合わせ等、出席しなければならない日を考えても、年間60日ほどで済むように思う。但し、議長・副議長等は他の議員より多忙である。（手当は、支給される）

但し、個人差があるので約60日間とは決めつけられないが、年間約880万円の手取り報酬がある。その中に非常勤であるが夏季、冬季（ボーナス）が含まれている。さらに組合議員には別手当がある。

私は、ヨーロッパのようにが費用弁償（出勤したら分だけ報酬をもらう）にすべきであると思っております。

●**まずは14人に、それから12人に減らす**

羽曳野市の人口は約11万6000人で議員は18名で、約64000人に1名。柏原市は約7万3000人に17名で、約4300人に1人です。羽曳野市と同じにすれば、11名となります。

●**議員を選ぶのは市民です**

住民自治が本当の民主主義であると思いますが、実現することは大変難しいことです。ですから、市民の代表を持った人間を選んで議員を選出するわけですが、議員を選ぶのは市民のみなさんなのです。

議員報酬、定数は議員が決めるわけですから、きちんとした考えとして議員を選んでいかなければなりません。

●**真実を発言するために「かしわら見張り番」を発行**

柏原市の市会議員の多くは、収入を得るためのサラリーマン議員です。サラリーマン議員は、そのほとんど無員が悪いとは思いませんが、生活のためとは言え、市長側に同意した議員が多かったと思います。

しかし、私は議員としてのプライド、自分自身の誇りを捨てることはできませんでした。

岡本市政に「NO」と言ったために半世紀続いた会社は壊滅状態となり、あらゆる面で誹謗中傷を受けました。

真実を発言しようと、5年前から「かしわら見張り番」を発行して参りました。失礼ながら多くの市民は、市政に対してほとんど無関心です。そして、市政をご存じありません。

発行すると1号につき、約35万円近くかかります。市会議員を務めていたときは、市民からいただく議員報酬をその費用に充ててきました。今は、自腹を切って発行しています。

残り少ない人生ですが、最後まで輝いて生きてゆくつもりので、非礼、ご協力してください。さることを心からお願い申し上げます。

市長報酬30％カット、退職金も50％カット

市長は実現するまで、議会にこの議題を提出し続けるべきだ！そして、議会は否決するな！

維新の橋下氏も市長報酬30％カット実現

中野市長は、維新の会のバックアップで当選した。そしてはまろう住子の給与と退職金のカットを公約に掲げ当選し、市職員の総人件費を「最大2割削減」に向けて、自ら身を切り財政改革に取り組む姿勢を示した。

議会の抵抗に負けてはならない

財政難の柏原市で、報酬カットを掲げて当選した中野氏も、公約通りに実行できなければならない。まずは6月に議会に議題として提出するであろうと思うが、市長の報酬カットは、議会で否決される可能性がある。なぜなら、可決すると、「市会議員報酬も30％は削減しろ」という火の粉が自分たちに降りかかるからです。

すでに、2月に柏原市区長会の役員4人が、市長と市議会議長あてに「市会議員の定数と報酬の削減を要求」する要望書を提出した。「適正な人数は12名、現18名は多い」「30％の報酬削減」とする内容である。

この要望に対して、柏原市議会は、定数1名削減して17名、報酬は現状（3月31日まで）の52万円から2万円削減して、50万円にするという回答があったようだ。

定数は削減するが、報酬をもっと上げるべきであると言っている議員もいるらしいが、税金を払っている柏原市の年収と比較しても非常勤である議員報酬は高すぎる。

議会は、「市長報酬30％カット、退職金も50％カット」を可決し、自らの報酬もカットすべきだ。

ご意見、ご希望は　電話 072-977-5502　FAX 072-977-8782　info@kashiwara-mihiriban.com　まで

かしわら市民のための
なんでも相談室開設

セクハラ
体罰
いじめ
虐待
ＤＶ

なんでも相談室にご連絡を

複数の有能な弁護士が無料でご相談に応じます。未成年の方でも気軽にお電話ください。

電話
072-978-1352
月～金（祝日をのぞく）
10:00～16:00